

国際文化ゼミナール (その3)

2 units 4th-year(1st semester)

Michio Ishida · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) 卒業論文作成へ向けて、文献検索の仕方や論文の読み方・論文作成の指導を行う。受講生は、3年次以降に、このゼミナールを通じて個別テーマの研究に着手することになる。国際文化コース所属の全教官が担当し、研究領域に応じて複数のクラスを開講する。これは特に哲学・思想サブコースに関わるゼミナールである。

Outline) 哲学思想に関する諸問題を扱う。哲学・宗教・文学など、さまざまなジャンルのテーマを各人の関心・興味により自由に考察する。

Keyword) 哲学, 思想, 倫理

Notice) 月に1ないし2回の発表があるので、何を発表するか、準備をしておく必要がある。発表はつねにレジユメを用意すること。

Goal) 卒業研究を完成させるに足る知識と技法を獲得すること。

Schedule)

1. 哲学思想に関わる文献を一緒に読むと共に、参加学生諸君の話し合いにより、参加学生が発表をローテーションで行い、それを中心に討論によって進めていく。
2. 参考のためにこれまでの発表題目の例を挙げると次の通りである。(1)「言語」という夢一言語に関する幾つかの誤解の解消のために—(2)日本人の宗教「的」意識について(4)哲学・政治・人道(5)現実とは何か—荘周の認識論—(6)スピノザ哲学の考察—決定論と自由の整合性から—(7)バリ島の宗教について(8)グレゴリオ聖歌について(9)イスラム教と悪魔について(10)ヨブ記について(11)ミケランジェロによる三体のピエタ

Evaluation Criteria) 発表したレジユメと出席で評価する。

Re-evaluation) 無し

Textbook) 資料・レジユメは各自で用意する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218649>

Contact)

⇒ Ishida (2328, +81-88-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 水曜日 14時~15時)